



地域研究にかかわる写真資料の
デジタル化・データベース化を支援します



日本の研究者による世界各地での現地調査の際に撮影された写真や動画などの画像資料は、調査当時の実態を記録した貴重な研究資源であるとともに、日本の学術史を反映する学術遺産でもあります。国内外での学術調査に関わる写真資料を集積するプラットフォームを構築し、地域研究のさらなる進展を支援する事業「地域研究画像デジタルライブラリ(略称DiPLAS)」が、国立民族学博物館を中核機関とし、京都大学東南アジア地域研究研究所、東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所、東京大学東洋文化研究所、国立情報学研究所を連携機関として、平成28年度に発足しました。

本事業の実施にあたって、進行中の科研費採択者を対象に広く公募をおこないます。採択されたプロジェクトに対して地域研究に関わる写真・映像資料のデジタル化・データベース化作業を進め、最終的には地域研究画像資料の国際的な共有化をはかります。

皆さんの応募を心よりお待ちしております。

研究支援代表者 吉田憲司(国立民族学博物館・館長)

新学術領域研究 「地域研究画像デジタルライブラリ」 公募プロジェクト

平成29年度募集開始
(申請締切・平成29年6月9日)

本事業の目的は、現在進行中の科学研究費助成事業（以下、「科研費」）プロジェクトを対象とし、過去に蓄積された写真資料のデジタル化・データベース化を技術的に支援することで研究の進展を促すことにあります。この事業を通じて、国内外での学術調査に関わる写真資料を集積した「地域研究画像デジタルライブラリ（略称 DiPLAS）」を構築し、地域研究のさらなる発展に資するプラットフォームとして整備します。

公募プロジェクトに対する支援内容

採択されたプロジェクトの代表者が所有・保管または活用の依頼を受けている写真資料に対して、利用許諾もしくは著作権譲渡に関する手続きを行ったうえで、デジタル化・データベース化を進め、地域研究に有用な基本情報（テキスト）を付加して返却します。

応募資格

公募年度において進行中の、地域研究*に関わる科研費プロジェクトの研究代表者。

*ここで言う地域研究とは、科研費に応募する際の審査希望分野ではなく、地域研究や関連する分野の手法によって国内外の各地域を対象とする研究プロジェクトを指します。

対象となる資料

支援を受ける科研費プロジェクトの研究代表者が自身で撮影したもの、ならびに所有・保管または活用の依頼を受けている写真資料（乾板、ネガ、ポジ、デジタル画像。プリントは除く）。なお、写真資料はデジタル化作業後に返却します。

研究支援期間と支援件数

採択された年度末までの単年度。支援件数は年間8件程度。

本公募については、「地域研究画像デジタルライブラリ」ホームページに、さらに詳しい内容を記載しています。
ホームページもご確認ください。

<http://diplas.jp/requirements.html>

申請の手続き

応募書類

申請は所定の様式による申請書を提出してください。申請書は、以下の地域研究画像デジタルライブラリのホームページからダウンロードできます。

URL: <http://diplas.jp/requirements.html>

なお、申請書には、支援を受ける科研費プロジェクトの研究計画調書の写しを添付してください。

申請期限

平成29年6月9日（金）までに申請書を提出してください。

提出および問い合わせ先

〒565-8511大阪府吹田市千里万博公園10-1
国立民族学博物館研究協力課研究協力係
Tel : 06-6878-8209
e-mail : kenkyo@idc.minpaku.ac.jp

スケジュール

- ▼公募締め切り：平成29年6月9日（金）
- ▼公募プロジェクト審査委員会において採択課題を決定
- ▼交付決定：平成29年6月末
- ▼採択されたプロジェクトの代表者に対するワークショップ：7月上旬に開催予定
- ▼写真資料のデジタル化・データベース化作業
- ▼成果の報告と情報の共有化に関わる会合：年度末に開催予定